

2024年日本平和大会実行委員会ニュースno.1



発行:2024年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2024/6/26
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

今年の平和大会は 11月16日(日)、オンライン

第2回実行委員会開催

今年の日本平和大会は、リアル開催の候補と考えていた地域が、会場確保や諸行事の日程などで受け入れが難しく、5月24日の第1回実行委員会でオンラインでの開催を確認しました。

本日開催した第2回実行委員会は、衛藤全労連常任幹事の司会のもと、東森安保破棄中央実行委事務局長が開会あいさつを行い、千坂日本平和委事務局長が、大会成功の呼びかけ案、学習パンフレットの構想案、平和大会に向けたプレ企画の考え方と具体化について提案し、討議の結果、添付のようにそれぞれ確認しました。東森さんの挨拶は以下の通りです。



自民党政治を終わらせ新しい政治を実現するたたかいの中に位置づけ

いま、「安保3文書」にもとづく大軍拡と「戦争国家」づくりが進められる中で、平和大会を開催し、これに反対するたたかいを交流するとともに、ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザ侵攻に反対するメッセージを発信していくうえでも重要です。

16日に行なわれた沖縄県議選は厳しい結果となりました。投票率は過去最低の45.26%で、自公政権を批判し投票率を高めるとりくみが十分広がらず、自公などが議席を増やしました。しかし、これは玉城県政への否定や、辺野古新基地推進派が多数を占めたことを意味しないことは重要です。このことは、投票日にNHKが行なった出口調査で、那覇市・南部離島選挙区で、玉城県政を「評価する」が68%に対して「評価しない」が32%であり、辺野古新基地に「容認」39%に対して「反対」が61%という数字に示されています。

今後、さらに沖縄との連帯を強めて、辺野古新基地を許さない運動をこれまで以上に広げるたたかいが求められています。

岸田政権が政治的基盤を失う中でも、アメリカ言いなりの大軍拡と改憲の姿勢を強めることで政治的延命を図ろうとしている中で、金権腐敗と一体の軍拡を進める自民党政治を終わらせ、新しい政治をつくるたたかいの中に平和大会とそれに向けた全国の運動を位置づけましょう。

今年の大会の構想 *いずれもオンライン

■ プレ企画 9月～10月にかけて、多彩なテーマによるオンライン企画

■ 本大会 11月16日(土)

◎全体集会 12時30分～14時30分(または15時)

◎分科会 15時30分(または16時)～17時30分(または18時)

1:大軍拡・戦争国家づくりストップ! 軍事同盟から憲法の道へ

2:国際シンポジウム:ASEANの努力に学び、非核平和の東アジア実現を